

1部：奪われない感謝（エペソ 2:1-10）

感謝のない信者はつい条件や環境、状況を取り上げるが、実は信者なのに未信者と同じレベルの感謝に留まっているからである。

（マタイ 5:46-47、ダニエル 6:10、エペソ 1:3）

1. 希望のない罪人の私が救われたことを感謝する。

- 1) 神様を離れ(死)、
サタンの罠、枠、足かせに、
滅びの運命
- 2) 恵みによるキリストの犠牲
- 3) 信仰により

2. 神様が私のいのちであることを感謝する。

- 1) ヨハネ 14:16
- 2) 1コリント 3:16
- 3) ローマ 8:15
- 4) エペソ 1:3
- 5) 2コリント 5:17

3. 他人を救う最高に価値あることに用いられることを感謝する。

- 1) マタイ 28:19
- 2) マルコ 16:15-18
- 3) ヨハネ 21:15-17
- 4) 使徒 1:8
- 5) エペソ 1:23
- 6) 1ペテロ 2:9

この感謝のある信者は、マタイ 6:33 を握り、条件、環境、状況への不満、不平、言い訳などせずに、感謝の内容が自分に実際に現れることを期待して祈り（証人）、他の人にそれが成就することを祈り（救い）さらに感謝する。！

2部なぜ人は神様に会うことが出来ないのでしょうか。（使徒 4：12）

人が不幸なのは神様を離れているからです。それで、人が幸せになれるのは神様に出会う時だけなのに、人は自ら神様に会うことが出来ないジレンマに墮ちています。なぜ人は神様に会うことが出来ないでしょうか。

1. それは、神様を離れている人の魂が死んでいるからです（エペソ 2：1）
人の魂が死んだというのは、神の靈が人を離れた状態を意味します。本来の人間は神の靈が宿っていましたが、人の墮落により神の靈が人を離れ死んだ魂となり、その時からサタンの靈が人の魂を支配するようになりました（1コリント 2：12）。結果、知識も知恵も麻痺し神様を知ることが出来なくなり（2テサロニケ 2：10-11）神の言葉を聞いても悟れない状態になりました（2コリント 4：4-5）

2. なのに人は神様に会うためにもがいています。
1) なぜなら墮落した後も靈的な存在に変わりはなく、神様を求める本性が残っているからです。
2) 素直になれば神様に受け入れられるだろうと
3) 宗教をもてば神様に会えるだろうと
4) 哲学を通して神様にたどり着けるだろうと思い努力しますが、通じることなく結果的によりむなしくなります。

す。（コロサイ 2：8-9）

5) 結局人々は原罪（1）が何かを知らない故、もがきつつ疲れます。

3. なので、人は努力以前に先に救われなければなりません。

1) すなわち新しく生まれなければ神様を見ることは出来ません（ヨハネ 3：3-5）。

2) 救いは、サタンの支配から解放されることです。

3) 救いは罪を赦されることです、

4) そして、救いは地獄の勢力から解放され、天国の民になることです。

4. しかし、人は自分の力でこの救いに

たどり着くことは出来ません。

1) まるで死んだ人が何も出きないのと同じように、魂が死んでいる人の努力は外的な変化をもたらすだけで、自分の魂を生かすことは出来ません。

2) 他人の助けがあっても、人の魂を生かすことにはなれません。

3) なぜなら、この世にサタンに勝てる英雄は存在しないからです。

5. なので、救いはまったく神様の恵みによるものです（エペソ 2：8）

1部-エペソ 2:1-3 奪われない感謝
なるほど／

キリストによる不思議な神様の救い、完璧な祝福、価値ある使命の人生になれたことを感謝する信者の感謝は、条件や環境、状況などで奪われない絶対感謝である。

ならば／

不満や不平、言い訳などを捨てて、このすべての感謝の内容が自分と現場に実際に現れることを祈り、さらに感謝しよう！

2部-使徒 4:12 なぜ人は神様に会えないのか。
なるほど／

神様を離れた人の魂は死んで絶対神様に会えない状態であることを知らずに人々は神様に会おうともがいているが、努力以前に人は神様の恵みによる救いが求められる。

ならば／

神様が恵みにより与えられた救いキリストを信じ受け入れて救われることを第一にして、すべての滅びの過去から解放されて神様と一緒になる！

1部：奪われない感謝（エペソ 2:1-10）

感謝のない信者はつい条件や環境、状況を取り上げるが、実は信者なのに未信者と同じレベルの感謝に留まっているからである。

（マタイ 5:46-47、ダニエル 6:10、エペソ 1:3）

1. 希望のない罪人の私が救われたことを感謝する。

- 1) 神様を離れ(死)、
サタンの罠、枠、足かせに、
滅びの運命
- 2) 恵みによるキリストの犠牲
- 3) 信仰により

2. 神様が私のいのちであることを感謝する。

- 1) ヨハネ 14:16
- 2) 1コリント 3:16
- 3) ローマ 8:15
- 4) エペソ 1:3
- 5) 2コリント 5:17

3. 他人を救う最高に価値あることに用いられることを感謝する。

- 1) マタイ 28:19
- 2) マルコ 16:15-18
- 3) ヨハネ 21:15-17
- 4) 使徒 1:8
- 5) エペソ 1:23
- 6) 1ペテロ 2:9

この感謝のある信者は、マタイ 6:33 を握り、条件、環境、状況への不満、不平、言い訳などせずに、感謝の内容が自分に実際に現れることを期待して祈り（証人）、他の人にそれが成就することを祈り（救い）さらに感謝する。！

2部なぜ人は神様に会うことが出来ないのでしょうか。（使徒 4：12）

人が不幸なのは神様を離れているからです。それで、人が幸せになれるのは神様に出会う時だけなのに、人は自ら神様に会うことが出来ないジレンマに墮ちています。なぜ人は神様に会うことが出来ないでしょうか。

1. それは、神様を離れている人の魂が死んでいるからです（エペソ 2：1）人の魂が死んだというのは、神の靈が人を離れた状態を意味します。本来の人間は神の靈が宿っていましたが、人の墮落により神の靈が人を離れ死んだ魂となり、その時からサタンの靈が人の魂を支配するようになりました（1コリント 2：12）。結果、知識も知恵も麻痺し神様を知ることが出来なくなり（2テサロニケ 2：10-11）神の言葉を聞いても悟れない状態になりました（2コリント 4：4-5）

2. なのに人は神様に会うためにもがいています。
1) なぜなら墮落した後も靈的な存在に変わりはなく、神様を求める本性が残っているからです。
2) 素直になれば神様に受け入れられるだろうと
3) 宗教をもてば神様に会えるだろうと
4) 哲学を通して神様にたどり着けるだろうと思い努力しますが、通じることなく結果的によりむなしくなります。

す。（コロサイ 2：8-9）

5) 結局人々は原罪（1）が何かを知らない故、もがきつつ疲れます。

3. なので、人は努力以前に先に救われなければなりません。

1) すなわち新しく生まれなければ神様を見ることは出来ません（ヨハネ 3：3-5）。

2) 救いは、サタンの支配から解放されることです。

3) 救いは罪を赦されることです、

4) そして、救いは地獄の勢力から解放され、天国の民になることです。

4. しかし、人は自分の力でこの救いに

たどり着くことは出来ません。

1) まるで死んだ人が何も出きないのと同じように、魂が死んでいる人の努力は外的な変化をもたらすだけで、自分の魂を生かすことは出来ません。

2) 他人の助けがあっても、人の魂を生かすことにはなれません。

3) なぜなら、この世にサタンに勝てる英雄は存在しないからです。

5. なので、救いはまったく神様の恵みによるものです（エペソ 2：8）

1部-エペソ 2:1-3 奪われない感謝
なるほど／

キリストによる不思議な神様の救い、完璧な祝福、価値ある使命の人生になれたことを感謝する信者の感謝は、条件や環境、状況などで奪われない絶対感謝である。

ならば／

不満や不平、言い訳などを捨てて、このすべての感謝の内容が自分と現場に実際に現れることを祈り、さらに感謝しよう！

2部-使徒 4:12 なぜ人は神様に会えないのか。

なるほど／

神様を離れた人の魂は死んで絶対神様に会えない状態であることを知らずに人々は神様に会おうともがいているが、努力以前に人は神様の恵みによる救いが求められる。

ならば／

神様が恵みにより与えられた救いキリストを信じ受け入れて救われることを第一にして、すべての滅びの過去から解放されて神様と一緒になる！

1部：奪われない感謝（エペソ 2:1-10）

感謝のない信者はつい条件や環境、状況を取り上げるが、実は信者なのに未信者と同じレベルの感謝に留まっているからである。

（マタイ 5:46-47、ダニエル 6:10、エペソ 1:3）

1. 希望のない罪人の私が救われたことを感謝する。

- 1) 神様を離れ(死)、
サタンの罠、枠、足かせに、
滅びの運命
- 2) 恵みによるキリストの犠牲
- 3) 信仰により

2. 神様が私のいのちであることを感謝する。

- 1) ヨハネ 14:16
- 2) 1コリント 3:16
- 3) ローマ 8:15
- 4) エペソ 1:3
- 5) 2コリント 5:17

3. 他人を救う最高に価値あることに用いられることを感謝する。

- 1) マタイ 28:19
- 2) マルコ 16:15-18
- 3) ヨハネ 21:15-17
- 4) 使徒 1:8
- 5) エペソ 1:23
- 6) 1ペテロ 2:9

この感謝のある信者は、マタイ 6:33 を握り、条件、環境、状況への不満、不平、言い訳などせずに、感謝の内容が自分に実際に現れることを期待して祈り（証人）、他の人にそれが成就することを祈り（救い）さらに感謝する。！

2部なぜ人は神様に会うことが出来ないのでしょうか。（使徒 4：12）

人が不幸なのは神様を離れているからです。それで、人が幸せになれるのは神様に出会う時だけなのに、人は自ら神様に会うことが出来ないジレンマに墮ちています。なぜ人は神様に会うことが出来ないでしょうか。

1. それは、神様を離れている人の魂が死んでいるからです（エペソ 2：1）人の魂が死んだというのは、神の靈が人を離れた状態を意味します。本来の人間は神の靈が宿っていましたが、人の墮落により神の靈が人を離れ死んだ魂となり、その時からサタンの靈が人の魂を支配するようになりました（1コリント 2：12）。結果、知識も知恵も麻痺し神様を知ることが出来なくなり（2テサロニケ 2：10-11）神の言葉を聞いても悟れない状態になりました（2コリント 4：4-5）

2. なのに人は神様に会うためにもがいています。
1) なぜなら墮落した後も靈的な存在に変わりはなく、神様を求める本性が残っているからです。
2) 素直になれば神様に受け入れられるだろうと
3) 宗教をもてば神様に会えるだろうと
4) 哲学を通して神様にたどり着けるだろうと思い努力しますが、通じることなく結果的によりむなしくなります。

す。（コロサイ 2：8-9）

5) 結局人々は原罪（1）が何かを知らない故、もがきつつ疲れます。

3. なので、人は努力以前に先に救われなければなりません。

1) すなわち新しく生まれなければ神様を見ることは出来ません（ヨハネ 3：3-5）。

2) 救いは、サタンの支配から解放されることです。

3) 救いは罪を赦されることです、

4) そして、救いは地獄の勢力から解放され、天国の民になることです。

4. しかし、人は自分の力でこの救いに

たどり着くことは出来ません。

1) まるで死んだ人が何も出きないのと同じように、魂が死んでいる人の努力は外的な変化をもたらすだけで、自分の魂を生かすことは出来ません。

2) 他人の助けがあっても、人の魂を生かすことにはなれません。

3) なぜなら、この世にサタンに勝てる英雄は存在しないからです。

5. なので、救いはまったく神様の恵みによるものです（エペソ 2：8）

1部-エペソ 2:1-3 奪われない感謝
なるほど／

キリストによる不思議な神様の救い、完璧な祝福、価値ある使命の人生になれたことを感謝する信者の感謝は、条件や環境、状況などで奪われない絶対感謝である。

ならば／

不満や不平、言い訳などを捨てて、このすべての感謝の内容が自分と現場に実際に現れることを祈り、さらに感謝しよう！

2部-使徒 4:12 なぜ人は神様に会えないのか。

なるほど／

神様を離れた人の魂は死んで絶対神様に会えない状態であることを知らずに人々は神様に会おうともがいているが、努力以前に人は神様の恵みによる救いが求められる。

ならば／

神様が恵みにより与えられた救いキリストを信じ受け入れて救われることを第一にして、すべての滅びの過去から解放されて神様と一緒になる！

1部：奪われない感謝（エペソ 2:1-10）

感謝のない信者はつい条件や環境、状況を取り上げるが、実は信者なのに未信者と同じレベルの感謝に留まっているからである。

（マタイ 5:46-47、ダニエル 6:10、エペソ 1:3）

1. 希望のない罪人の私が救われたことを感謝する。

- 1) 神様を離れ(死)、
サタンの罠、枠、足かせに、
滅びの運命
- 2) 恵みによるキリストの犠牲
- 3) 信仰により

2. 神様が私のいのちであることを感謝する。

- 1) ヨハネ 14:16
- 2) 1コリント 3:16
- 3) ローマ 8:15
- 4) エペソ 1:3
- 5) 2コリント 5:17

3. 他人を救う最高に価値あることに用いられることを感謝する。

- 1) マタイ 28:19
- 2) マルコ 16:15-18
- 3) ヨハネ 21:15-17
- 4) 使徒 1:8
- 5) エペソ 1:23
- 6) 1ペテロ 2:9

この感謝のある信者は、マタイ 6:33 を握り、条件、環境、状況への不満、不平、言い訳などせずに、感謝の内容が自分に実際に現れることを期待して祈り（証人）、他の人にそれが成就することを祈り（救い）さらに感謝する。！

2部なぜ人は神様に会うことが出来ないのでしょうか。（使徒 4：12）

人が不幸なのは神様を離れているからです。それで、人が幸せになれるのは神様に出会う時だけなのに、人は自ら神様に会うことが出来ないジレンマに墮ちています。なぜ人は神様に会うことが出来ないでしょうか。

1. それは、神様を離れている人の魂が死んでいるからです（エペソ 2：1）
人の魂が死んだというのは、神の靈が人を離れた状態を意味します。本来の人間は神の靈が宿っていましたが、人の墮落により神の靈が人を離れ死んだ魂となり、その時からサタンの靈が人の魂を支配するようになりました（1コリント 2：12）。結果、知識も知恵も麻痺し神様を知ることが出来なくなり（2テサロニケ 2：10-11）神の言葉を聞いても悟れない状態になりました（2コリント 4：4-5）

2. なのに人は神様に会うためにもがいています。
1) なぜなら墮落した後も靈的な存在に変わりはなく、神様を求める本性が残っているからです。
2) 素直になれば神様に受け入れられるだろうと
3) 宗教をもてば神様に会えるだろうと
4) 哲学を通して神様にたどり着けるだろうと思い努力しますが、通じることなく結果的によりむなしくなります。

す。（コロサイ 2：8-9）

5) 結局人々は原罪（1）が何かを知らない故、もがきつつ疲れます。

3. なので、人は努力以前に先に救われなければなりません。

1) すなわち新しく生まれなければ神様を見ることは出来ません（ヨハネ 3：3-5）。

2) 救いは、サタンの支配から解放されることです。

3) 救いは罪を赦されることです、

4) そして、救いは地獄の勢力から解放され、天国の民になることです。

4. しかし、人は自分の力でこの救いに

たどり着くことは出来ません。

1) まるで死んだ人が何も出きないのと同じように、魂が死んでいる人の努力は外的な変化をもたらすだけで、自分の魂を生かすことは出来ません。

2) 他人の助けがあっても、人の魂を生かすことにはなれません。

3) なぜなら、この世にサタンに勝てる英雄は存在しないからです。

5. なので、救いはまったく神様の恵みによるものです（エペソ 2：8）

1部-エペソ 2:1-3 奪われない感謝
なるほど／

キリストによる不思議な神様の救い、完璧な祝福、価値ある使命の人生になれたことを感謝する信者の感謝は、条件や環境、状況などで奪われない絶対感謝である。

ならば／

不満や不平、言い訳などを捨てて、このすべての感謝の内容が自分と現場に実際に現れることを祈り、さらに感謝しよう！

2部-使徒 4:12 なぜ人は神様に会えないのか。

なるほど／

神様を離れた人の魂は死んで絶対神様に会えない状態であることを知らずに人々は神様に会おうともがいているが、努力以前に人は神様の恵みによる救いが求められる。

ならば／

神様が恵みにより与えられた救いキリストを信じ受け入れて救われることを第一にして、すべての滅びの過去から解放されて神様と一緒になる！